

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第63号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
 TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
 Email: zan25564@nifty.com http://www.kanagawa-iguren.com

今年1年を振り返って

専務理事 芝 忠

平成19年(2007)の異グ連活動を振り返ると、春は外部からの委託事業で満載でした。(独)中小企業基盤整備機構(財)中小企業異業種交流財団の研究開発交流会事業を活用した航空宇宙(まんでんプロジェクト)の全国大会、内藤泰春財団事業としてJAXA(宇宙航空研究開発機構)の的川先生を中心とした宇宙講演会、(財)中小企業センターの産学交流サロン事業による「野毛浮世床」(7月にも開催)を2月に一挙に実施、さらに関東学院大学の航空宇宙関連企業を対象とした調査事業(5年間継続予定)やJICA(国際協力機構)のアルメニア研修事業、中小企業基盤整備機構(中小企業異業種交流財団)の会計セミナーの成果の取りまとめなど、3月の年度末一杯まで続きました。

4月からの新年度事業として特筆すべきは「中小企業振興条例」問題に取り組んだことで、知事選挙の3候補がいずれも取り上げました。中小企業家同友会とも共催で5・7・10月に勉強会を開催、各地の先進事例を研究しました。また県内市町村・商工会議所・商工会・その他の経済団体・労働組合等を訪問し、市町村は横浜・川崎・相模原・横須賀・平塚・藤沢・茅ヶ崎・小田原・大和・海老名・湯河原・山北・二宮・中井等を回りました。県の条例化実施方針もあってようやく各団体の関心が高まり、これからが本番でしょう。学者との協力が進んでいるのも成果の一つです。

この1年間、野毛地域との交流が進みました。当初はなかなか胸襟を開くということが困難でしたが、回を重ねる毎に、双方の理解が進み、野毛地域側も本格的に対応し始めました。これには亡くなった池谷明彦ビジネスコーディネータの功績を忘れてはならないと思います。横浜野毛地域飲食店活性化プロジェクトが毎月例会を持ち、野毛街づくり会側が参加、今年度の「地域資源活用促進法」の指定を受けた案件にも絡んでいます。全国的にも異業種交流協議会が地域の活性化にこれだけ深く関与している例は少ないと思います。最近では横浜市職員も参加しています。

まんでんプロジェクトの発展も重要です。参加企業が130社を超えました。東京や名古屋・栃木・岡山・大阪・北海道など各地の活動に影響を与えています。関東経済産業局や文部科学省・JAXAなど国の機関とも連携が進んでいます。まんでんプロジェクトの名前はNHKでも公認となりました(もともとNHKの朝ドラの名前を使わせていただいているのですが)。このプロジェクトメンバーやJASPA(株)(共同出資による会社)の役員らの献身的取り組みには頭が下がります。全くのボランティアで支えています。

地域交流サロンも小田原を筆頭に横須賀・川崎・横浜、さらに尾上町サロンとそれぞれユニークな特徴があり、次年度は県央地域にも展開を図りたいと思います。

秋には前号でも報告したとおり、全国各地の異業種交流大会に手分けして参加し、それぞれ勉強にはなりましたが、討論を深めるという見地から言えば改善策が望まれます。

懸案の異グ連ホームページの見直しにも着手しました。今年、未着手なのは「中小企業人材問題」と「フォーラム」事業です。来年2月のイベント月間と合わせて構築したいと思います。皆様、来年も良いお年をお迎え下さい。

産学官交流サロンのコーナー

おなじみ尾上町サロン

日時:毎月第一・三金曜日(1月04日、18日) 会場:神奈川中小企業センター5F産業交流プラザ
 連絡問合せ:神奈川異グ連事務局 芝、八幡、島津龍男、児玉、鈴木 045-633-5142

第11回(11月12日)西湘サロン報告

吉池BC

あまり運動をしない高齢者や、長く床に臥している患者は腰から下が衰え、膝関節が変形したり、バランスがとれず転んだり、うまく歩けなかったりするという。国際医療福祉大学 小田原保険医療学部理学療法科 准教授 昇 寛(のぼりひろし)氏はこれらの症状を回復するため、歯の無い下駄の裏側にボールベアリングを配し、床面で滑走しやすくした、「下駄型ローラーペダル運動器」(特許出願中)と、これによる下肢筋力を足指間圧力で計測する「足指力計測器 チェッカー君」を開発した。今回は開発ご当人直々に、使い方やその効果を説明していただいた。引き続き、参加者が椅子に座りながらこの下駄で互いにボールをける競技をし、その後「チェッカー君」で測定した結果、その効果が顕著なことにびっくりしていた。

第24回サロンよこはま予告(仮案)

日時: H20年01月24日(木) 18:00~20:30

会場: ヘリオス関内ビル 2階会議室

横浜市中区元浜町3-21-2

話題: 交渉中、1月号で正確にお伝えいたします。

「新連携の勧め(異業種企業の連携で活性化を)」

中小企業基盤整備機構マネージャー

参加費: 2000円 申込: 芝、杉本、織方

tel 045-633-5142, fax 045-633-5194

第12回西湘サロンの開催案内

日時: 2008年1月21日(月) 18:00~20:30

場所: あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル)3F

会費: 1000円(ビール、おつまみ付)

話題: **仕事のロマン 21世紀“アジア共生時代”に****「ものづくりで向き合う中国」**

旭東ダイカスト(株)代表取締役社長 山森一男氏

申込: 芝、島津俊、吉池

tel 045-633-5142, fax 045-633-5194

第23回三浦半島経済人サロン報告

八幡敬和

前回に続くまちづくりシリーズの第2弾として、横須賀「どぶ板通りのまちづくりの実践」について、本町商店街の越川会長と長年支援してきた中小企業診断士の大場保男氏との対話形式で紹介がなされた。

アメリカンイメージのストーリー形式のため、大掛かりなハードの整備を行い、空き地を利用した「どぶ板バザール」で町全体がイベント広場と化し、数年前から始めた「一店逸品づくり運動」が稔り、全店を紹介したガイドブックを3万部作成して無料配布している。大型店(ダイエーショッパープラザ横須賀)とも仲良く付き合っており、横須賀への客を汐入駅—どぶ板回遊—横須賀中央駅乗車または、その逆の流れを作っているという心強い事例発表であった。

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**まんてんプロジェクト**

千田BC

- 10月30日午後、東京都が主催する「第二回アジア旅客機フォーラム」が東京都庁にて開催された。フォーラム参加のアジア6カ国から出席があり、東京都在住の企業など約200名の参加があった。まんてんプロジェクトから、「中小企業の航空機産業への参入について」と題し、まんてんを含む全国の中小企業コンソーシアムの取り組みを紹介した。ベトナム代表は、航空機産業を国策として育成しようとしており、日本の中小企業の取り組みに大変興味を示した。
- 日本実業出版社が発行する月刊誌「経営者会報」12月号に「下請けで培った技術力の連携で航空宇宙産業に挑む」と題してまんてんプロジェクトが詳細に紹介された。10月の東京都産業交流でのまんてんの展示を見て改めて取材し記事にまとめたものである。
- 名古屋市が産業政策の一環として(財)名古屋市産業振興協会を主管として名古屋地域での航空宇宙産業の振興を考えており、その一環として、全国の航空宇宙機関連コンソーシアムと企業を集め、来年10月末に、「航空機産業技術展(仮称)」の開催を計画したが、その事前説明会が11月21日開催され、まんてんプロジェクトが招待されて取り組みの現状を紹介した。中部地方は航空機の下請け産業集積では我が国最大である。名古屋市のプロジェクトは今後まんてんが協力していくこととなった。また名古屋市は、既に先行する東京都と行政レベルで連携することとしており、その行方が注目される。
- 11月16日、とちぎ航空宇宙産業振興協議会が設立された。県内外の企業、大学商工団体など117社・団体が加盟しており、福田知事がトップとなって「航空宇宙産業を県のトップブランドの一つとして内外に発信する」としており、県を揚げた取り組みを行なうとしている。すでに栃木県には航空宇宙懇話会と言う任意団体が数年来勉強会などの活動を行なってきたが、懇話会は今後も継続することとしている。参加者の数ではまんてんプロジェクトに次ぐ第二の規模のコンソーシアムが出現したこととなる。
- これまであまり動きがなかった地方でも航空機産業への取り組みが活発化している。産業技術連携推進会議(公設研や産総研との連携を図る協議会)東北地域部会の機械・金属分科会のなかに航空宇宙産業研究会が創設された(本年10月16日)。この中心は秋田県産業技術総合センターと企業8社。また宮城県でも9社が集まってKプロジェクトの名称で航空機プロジェクトの立ち上げが進行中であると言う。このうち数社は前記産業研究会にも参加している。来年度には東京都も都下の航空機産業関連企業をまとめた連合体の結成を行なうと発表している。

第80回 日韓ビジネス協議会報告

高橋導徳BC

第80回定例会は11月21日下記内容で開催しました。

- 最近のアセアン(フィリピン、マレーシア)と日本について・・・交流アドバイザー 児玉英二氏
- 最近訪問したアセアン(フィリピン、マレーシア)、山東省の視察・見聞録の紹介。

- 神奈川県・韓国・京畿道との「異業種国際交流会」(11月1日)の報告・・・事務局
- ・今回で3回目の「異業種国際交流会」で、異業種交流の現状説明、企業紹介、10グループに分かれての交流会・商談、晩餐会などを実施した。韓国側の企業数は36社、京畿道、中小企業振興公団、連合会事務局など総勢39名が来日した。日本企業も34社参加され盛況の交流会であった。
- 太陽電池の普及状況について・・・交流アドバイザー 児玉英二氏
- ・NEDO発行の「なぜ、日本が光発電で世界一になれたのか」の冊子を出席者全員に配布して概要説明をした。
- 講演:最新のセキュリティーシステムの開発について・・・(有)ホームポジション 代表取締役 竹 健治氏
- ・今回開発した「るすガード」について説明された。安全をサポートするセキュリティーシステムで安心・安全を低価格で！事務所や店舗の休日・閉店後しっかり見守る。3つの機能(携帯にメール通知、画像を記録する、もしもの時スピーカー威嚇する)。価格が8万円程度で大変安価であり、関係者にPRしてもらいたい。案件がありましたら相談してほしい。

第81回日韓ビジネス協議会の開催案内

12月度は開催を中止して、来月に新年会を開催することにしました。

日 時: H20年1月23日(水)13:00~17:00 定例会、17:30より新年会(3000円、だんまや水産)

場 所: 神奈川中小企業センタービル・・・5階会議室 かながわ異業種交流センター

内 容: 次第は決定しましたらご連絡致します。

関心ある企業の参加者を歓迎致します。会費は1,000円です。

連絡申込先: TEL&FAX045-311-0094 高橋迄 MAIL: mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

スターリングエンジン研究会

八幡敬和

神奈川県におけるSE研究会と並行して長野地区でもバイオマスとSEへの適用研究と事業化が進められている。この両者が情報交換と交流を目的に総勢20名が、12月2日坂城に集結した。6本の研究情報が発表され、翌日は、上田市のエマルジョン燃料と燃焼実験及びプロマテリアルのエマルジョン装置納入先の群馬県の其乳業工場での燃焼状況を見学した。両日(昼夜)を通して、互いに利用し合える新技術を確認したり、SE以外への展開可能なヒントを共有した有意義な研究会であった。

特に、長野地区におけるバイオマス関連技術として、

- ① 水分を含んだ廃オガ屑、生ゴミ、汚泥のバイオによる乾燥技術
- ② 界面活性に優れた水の創成技術・・・乳化剤を使用しないエマルジョン化

は感銘させられ、これだけで終わらせたくない技術と認識させられた。

シフト21

有村知里BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に、原則第二火曜日に定例会を開催しております。(場所はかながわ県民センター)

12月定例会は横浜市こども青少年局企画調整課のご協力により「最近のワークライフバランス(WLB)と企業の取り組み事例～経営戦略としてのワークライフバランスについて」と題して、横浜市両立支援アドバイザーの上岡由美子氏(社会保険労務士)にお話をいただきました。

1月定例会は、「マスコミへ売り込むメディアPR術～パブリック・リレーションズ～」というテーマで、株式会社メディア・ソリューションズ 代表取締役 烏田(からすだ)淳二氏にお話をいただきます。企業がお金を払って行う広告宣伝ではなく、メディアに上手に取り上げてもらうことは企業や製品ブランドの構築や、販路開拓にも大きな影響があります。広告とPRの違い、PRとブランディングについてわかりやすくお話いただきます。

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。
(arimura-c@nifty.com)

関連イベントなどのおしらせ

中小企業振興条例・討論集会(予告)

日 時: 2月22日(金)13:30~16:30 予定

場 所: 東神奈川の建設プラザ2Fホール

内 容: 全国的に気運が盛り上がりつつある中で神奈川県も条例制定に動き始めました。振興条例は如何に有るべきかを討論いたします。(詳細は1月号で！)

中小企業技術革新(SBIR)制度説明会

日 時: 第三回 H20年02月07日(木)

13:30~16:30(日程変更です、ご注意ください)

場 所: 神奈川中小企業センター

内 容: 公的資金活用企業の体験談、SBIR 制度概要等

参加費: 無料 **問合せ:** (社)日本技術士会 神奈川県
TEL045-210-0337 FAX045-210-0338

新分野・新技術支援研究会(NFT)～「マーケット主導型ものづくりとコラボレーション」～一般公開**日時:**H20年01月11日(金)14:00～17:00 17:00～新年交流会**場所:**川崎市産業振興会館9F第3研修室 参加費:無料 申込:川崎市産業振興財団事業推進課 044-548-4117**講演:**(ネクストビジネス研究会)・明治大学経営学部准教授 歌代 豊氏

(知財技術産業化研究会)・日本パテントリサーチアソシエイツ代表幹事 大鐘 恒憲氏

(グローバル経営研究会)・根岸公認会計士事務所 根岸 康夫氏

(市場創造戦略研究会)・西武文理大学サービス経営学部教授 柏木 孝之氏

21世紀国際交流会(会費 1000 円)**日時:**H19年12月22日(土)14:00～17:00**テーマ:**どうなる朝鮮半島、どうする日本**会場:**専修大学神田校舎13F13A会議室

千代田区神田神保町3-8

パネリスト

大阪経済法科大学客員教授 吉田康彦氏

拓殖大学客員教授 姜 英之氏

在日朝鮮商工連合会副理事長 金 明守氏

申込:日本ベトナム友好協会・本吉 045-201-2582**ビジネスプラン実践講座(受講料 10,000 円)**

H20年1月12日(土)起業に当たっての心構え

1月17,18日ビジネスプラン個別指導①

1月26日(土)創業者に必要な経理の知識

2月2日(土)Webを用いた効果的な販促手法

2月16日(土)繁盛店に学ぶ経営の壺

2月21,22日ビジネスプラン個別指導②

3月1日(土)ビジネスプランのまとめ方

3月8日(土)ビジネスプラン発表会・交流会

問合せ:神奈川中小企業センター045-633-5203 へ**論壇・投稿のコーナー****「中小企業の国際競争力強化支援」**

千田BC(JASPA 取締役)

我が国の中小企業支援策、特にもの作りに関しては平成7年に制定された「科学技術基本法」などを契機に、近年拡充されつつあるとはいえ、本格的な国際競争を視野に入れた支援策については更なる充実が望まれる重要施策分野の一つである。

実は、日本と並ぶ世界の中小企業のメッカであるイタリアにも「まんてんプロジェクト」的な航空宇宙振興政策がスタートしている。此处では、行政、大企業、中小企業が連携し産官学ネットワークを構成して航空宇宙産業において国際的なポジションを確保するべく施策が始動を始めた。

イタリア北部のピエモンテ州は、イタリア第一の製造業集積地として我が国の京浜工業地帯と比較されることも稀ではないが、嘗てはフィアット社などの自動車関連ビジネスが盛んであった。しかし、イタリアの自動車産業は近年衰退しており、将来を支えるテーマが必要であった。そこで都都トリノ市のトリノ商工会議所は、21世紀のピエモンテ州を航空宇宙製造業のメッカとして再生することとし、2003年から州内9000社の実態調査を実施し、大企業5社のほか、関連企業400社を明確化し、うち99社については企業情報を英語版データベースとしてインターネットに公開している。また2007年のパリエアショーに出展し政策宣伝を開始したほか2007-2009年間の3カ年計画「The Torino Piemonte Aerospace Plan」を発表した。この

計画では、トリノ商工会議所が中心となり、州政府、中央政府が連携し、技術的にはトリノ工科大学が参加して、中小企業などの品質保証や試験能力の向上、研究開発能力の向上、海外競争力の向上、海外との事業機会の向上などを支援するとしている。

トリノ商工会議所が調査をスタートした2003年は、奇しくもまんてんプロジェクトが正式にスタートした年でもある。我が国でも2007年から東京都が本格的な支援を開始したことは心強いが、まだ始まったばかりであり今後多くの課題が残されている。

航空宇宙産業は本来的に国際競争場裏におかれている産業であり、我が国では従来ややもすると手薄になりがちであった国際競争力強化の支援策がこのような状況を機会に航空宇宙だけでなく他の分野についても強化されることを期待している。

参考:トリノ商工会議所HP(英語版) http://www.to.camcom.it/Page/t17/view_html?idp=9162

事務局のコーナー**神奈川県異業種グループ連絡会議**

交流アドバイザーが詰めておりますので気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】 島津 龍男 村上 嘉男 【水】 芝 忠 杉本 明子 【金】 芝 忠 島津 龍男

【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【木】 八幡 敬和 松井 利夫 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小センタービル5階

t 045-633-5142 F045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail: iguren@kanagawa-iguren.com皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本、児玉へ